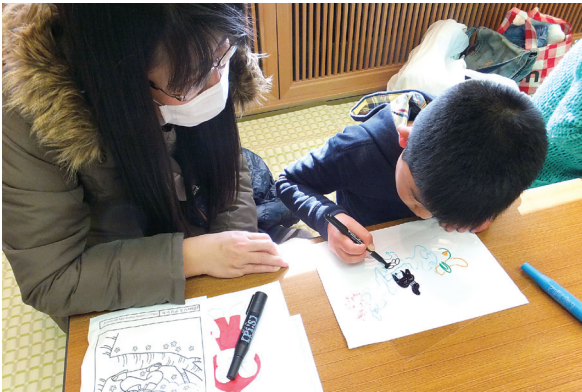




▼ 12月6日

アートワークで楽しもう



アートワーク教室は、文化センターで開催され、多くの親子連れが訪れました。

教室では、プラスチックの板にそれぞれが思いの絵を作成。トースターで焼き上げると、世界に一つだけのプレートが完成しました。参加した子どもたちは、できあがったプレートを見て大喜び。キーホルダー、しおりやネックレスなどにして、大切に持ち帰っていました。

▼ 11月16日

県内の多彩な文化が集結



県民総合文化祭「民謡民舞公演」は、文化センターで開催され、多くの来場者でにぎわいました。

当日は、愛媛民謡民舞協会加盟の12団体から、約300人が出演。唄や踊りなど多彩な演目が披露され、観客を魅了しました。

さらに、会場内では町文化協会が特産品の物産を販売。来場者に文化だけでなく、松前の恵みも味わってもらっていました。

▼ 12月6日

火の用心、カンカン



火災が多くなる年末を前に、西古泉の子どもたちと消防団が年末警戒(夜警)を行いました。

町内では初となった、消防団と地区の子どもたちが協力して火災を防ごうとするこの試み。当日は、「火の用心」の元気な掛け声と拍子木を打った音が地区内に響き渡りました。参加した遠田有希ちゃんは、「火の用心をして、火災の件数が0件になるようにしてほしい」と話していました。

▼ 11月22日

介護現場のプチ自慢大会



介護現場のプチ自慢大会は、文化センターで開催され、町民や介護保険事業所の関係者など200人以上が参加しました。

大会では、介護従事者だけでなく、家族や地域の人々が一体となって高齢者を支えた事例など、各事業所からさまざまな事例が発表されました。会場でも事例を通し、みんなが一体となって介護を支えていこうと意識を高めていました。